

マイクロカセット™コーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

M-830

Sony Corporation © 1999 Printed in China

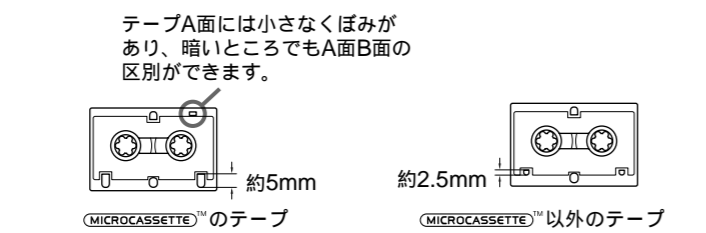
安全のために

警告

- 乾電池はコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の+と-が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- マイクロカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- カセットテープは「MICROCASSETTE™」の表示があるものをご使用ください。この表示のないテープは、このマイクロカセットコーダーでは使用できない場合があります。



あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

主な特長

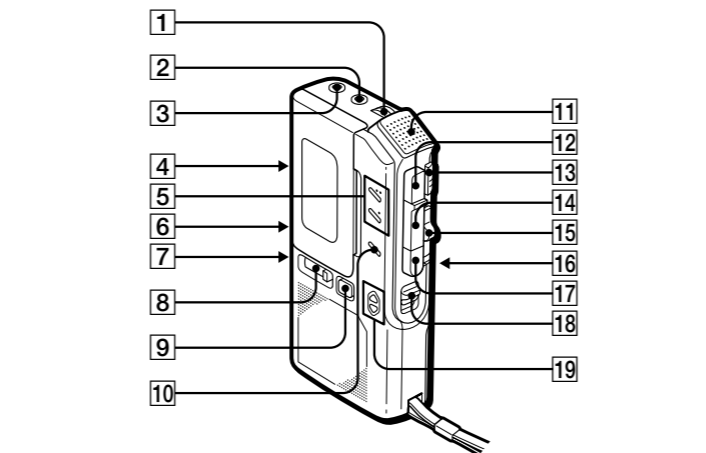
- テープの表裏を確かめずに早送り、巻き戻しができるイーザーFF/REWつき録再オートリバース。
- 電池の消耗を2段階で知らせる録音 / 電池ランプと電池の交換時期を知らせるⓍ(電池交換)ランプ。
- 録音内容ごとに信号音を入れておくことにより、キュー / レビュー時に頭出しができる、キューマーカー機能。
- 再生の速度を普通速度より速め、効率良く聞き返すのに便利な、ファーストプレイバック(速聞き再生)機能。
- 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まるVOR(自動音声録音スタート)機能。
- 24時間連続録音(アルカリ単3形乾電池使用時)。
- お手持ちのヘッドホンを使って両耳で聞くこともできる、L/Rモノラル出力。
- 再生モードから直接録音モードにできる後追い録音機能。
- テープカウンター
- 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、ストップポーズリリース機能。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまう失敗を減らします。

Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社	〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	
お問い合わせはお客様ご相談センターへ		
●ナビダイヤル……………0570-00-3311	受付時間： 月～金 9:00～20:00	
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)		
●携帯電話・PHSでのご利用は……03-5448-3311	土・日・祝日	
●Fax ……………0466-31-2595	9:00～17:00	

各部のなまえ



- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1 音量 ▲ つまみ | 11 マイク |
| 2 マイクジャック | 12 ●(録音)ボタン |
| 3 イヤホンジャック | 13 ◀一時停止スイッチ |
| 4 VORスイッチ | 14 ▶▶(再生)ボタン |
| 5 録音 / 電池ランプ | 15 早送り / キュー・巻戻し / レビューつまみ |
| 6 ファーストプレイバックスイッチ | 16 テープスピード切り換えスイッチ |
| 7 DC IN 3Vジャック | 17 ▶▶(カセット取り出し / 停止)ボタン |
| 8 テープカウンター | 18 反転 ▶ スイッチ |
| 9 キューマーカーボタン | 19 走行表示 |
| 10 Ⓧ(電池交換)ランプ | |

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はご購入日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

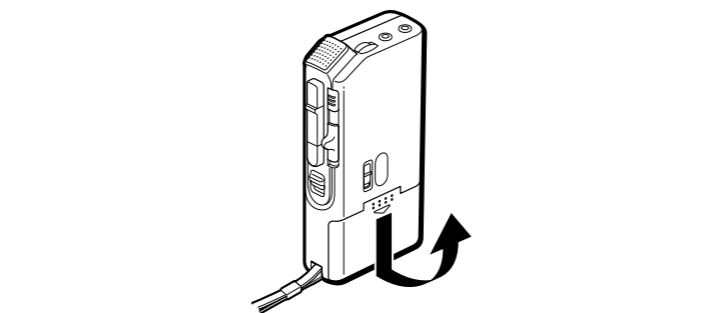
当社ではマイクロカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

準備する

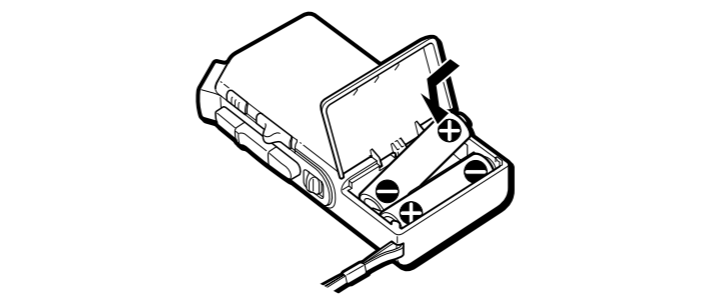
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

1 乾電池を入れる

- 押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる



- 単3形乾電池2本を入れる。図のように必ず2本ともⓍ側から入れてください。

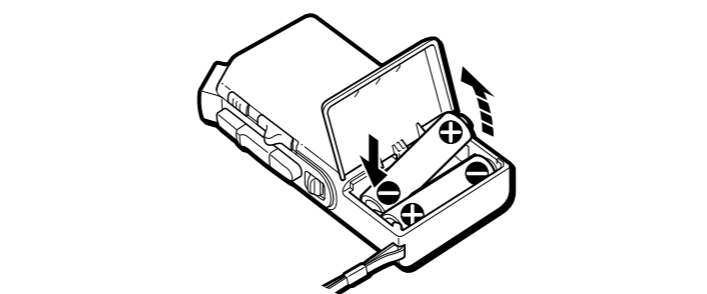


乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

ご注意

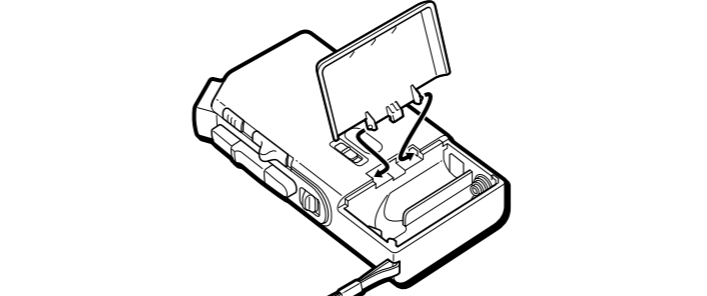
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池を取り出すときは



電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のようにふたを少しまげて取り付けてください。



録音する

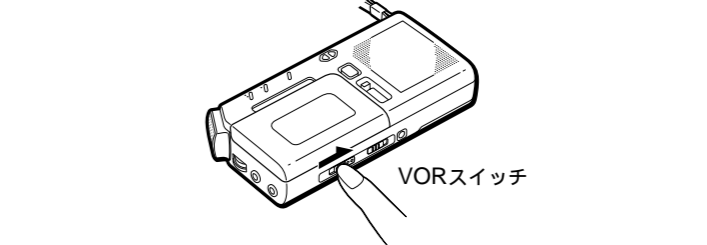
内蔵マイクですぐに録音できます。

1 カセットを入れる

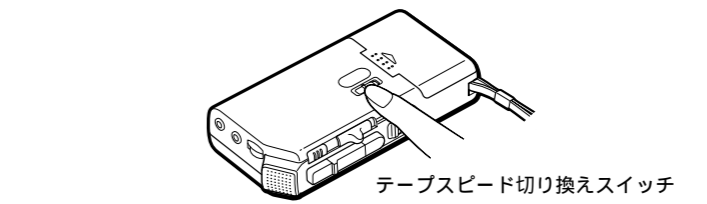
- ▶▶を押してふたを開ける
- 録音を始める面をふた側にしてカセットを入れる
- ふたを閉める

2 VOR(自動音声録音スタート)機能を「切」にする

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VOR機能を「切」にしておいてください。VOR機能を使った録音については「いろいろな録音のしかた」をご覧ください。

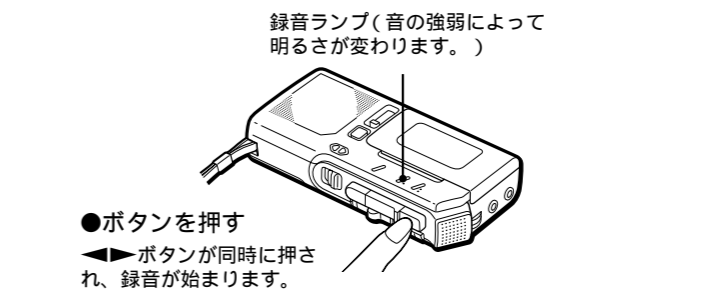


3 テープ速度を選ぶ



4 録音する

おもて面から録音が始まり、うら面も続けて録音します(オートリバース)。うら面が終わると自動的に止まります。



操作	押すボタン、ずらすつまみ
録音を止める	▶▶
一時停止する	◀一時停止を矢印の方向にずらす。一時停止を解除するには、◀一時停止を元に戻す
カセットを取り出す	▶▶

停止中にふたを開けるとテープ走行方向は自動的にもて面になります。一度ふたを開けてから再び操作すると必ずおもて面を録音します。

テープを聞く

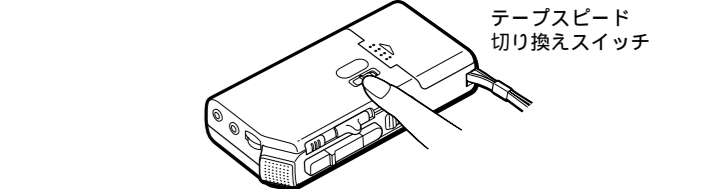
内蔵スピーカーから音が聞こえます。

1 カセットを入れる

- ▶▶押してふたを開ける
- 再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる
- ふたを閉める

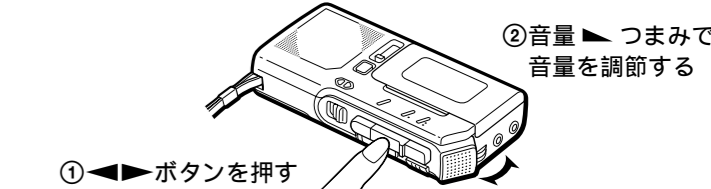
2 テープ速度を選ぶ

録音したときの速度に合わせます。



3 再生する

おもて面から再生が始まり、うら面も続けて再生します(オートリバース)。うら面が終わると自動的に止まります。



操作	押すボタン、ずらすつまみ
テープを止める	▶▶
一時停止する	◀一時停止スイッチを矢印の方向にずらす。一時停止を解除するには、◀一時停止を元に戻す。

テープのうら面だけ聞く
反転▶をずらして走行表示をうら面にして(緑色になる)から、◀▶を押す。

早送りする*
停止中に早送り / キュー・巻戻し / レビューつまみを早送り / キューの方向にずらす。

巻き戻す*
停止中に早送り / キュー・巻戻し / レビューつまみを巻戻し / レビューの方向にずらす。

音を聞きながら早送りする
再生中に早送り / キュー・巻戻し / レビューつまみを早送り / キューの方向にずらす(指を離すとそこから再生する)。

音を聞きながら巻き戻す
再生中に早送り / キュー・巻戻し / レビューつまみを巻戻し / レビューの方向にずらす(指を離すとそこから再生する)。

再生面を変える
反転▶

速聞きする**
ファーストプレイバックスイッチを矢印の方向にずらす。

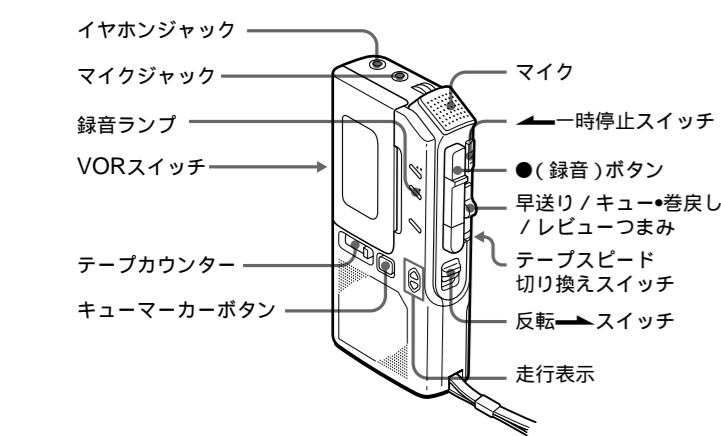
速聞きする**
ファーストプレイバックスイッチを矢印の方向にずらす。

別売りのヘッドホンをイヤホンジャックに差すと、両耳から聞こえます(ただし、音声はモノラルです)。

ご注意

再生中に早送り(キュー)巻き戻し(レビュー)をしてテープの端まで巻き取られたとき、指を離しても早送り / キュー・巻戻し / レビューつまみが中央に戻らないことがあります。このような場合は、つまみを中央に戻すと再生が始まります。

いろいろな録音のしかた



録音する面を選ぶ

両面を続けて録音するには

- 録音を始める面をふた側にしてカセットを入れます。
- テープ走行表示がうら面になっているときは、反転→スイッチをずらして走行表示をおもて面にして(緑色になる)から録音します。おもて面(ふた側の面)の録音が終わると、自動的にうら面(本体側の面)から録音が始まります。(ただし、おもて面からうら面に切り換わる間数秒間録音がとぎれます。)うら面の録音が終わると、自動的に停止します。

ご注意

- おもて面、うら面ともにツメが折れていないことを確認してください。
- うら面のツメだけが折れている場合でも録音できません。

片面だけを録音するには

- 録音を始める面を本体側にしてカセットを入れます。
- テープ走行表示がおもて面になっているときは、反転→スイッチをずらして走行表示をうら面にして(緑色になる)から録音します。録音はうら面から始まります。うら面の録音が終わると、自動的に停止します。

ご注意

うら面のツメが折れていないことを確認してください。

走行方向表示	
<div> うら面</div> <div> おもて面</div>	おもて面(ふた側の面)を録音 / 再生中
<div> うら面</div> <div> おもて面</div>	うら面(本体側の面)を録音 / 再生中

ご注意

- 停止中にふたをあけるとテープの走行方向は自動的にもて面になります。再び操作すると、必ずおもて面を録音します。
- 録音中は反転→スイッチは使えません。

テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。テープカウンターはおもて面を走行中は数字が増え、うら面を走行中は数字が減っていきます。

テープ速度

テープスピード切り換えスイッチでテープ速度を選びます。

2.4cm： 通常の録音をするとき

「1.2 cm」のときより良い音で録音できます。

- 2cm： テープを2倍の長さに使って録音するとき（MC-60を使うと往復120分の録音ができます。）

ご注意

- 再生は必ず録音と同じテープスピードで行なってください。他のマイクロカセットレコーダーで再生する可能性がある場合は、なるべく2.4cm/sの速さで録音してください。1.2cm/sの速さで録音したテープを、他のマイクロカセットレコーダーで再生すると、再生音が異なる場合があります。

音がしたとき自動的に録音を始める(VOR機能)

VORスイッチを「高」または「低」に切り換えておきます。

●ボタンを押すと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間はがぶけるので口述録音するとき便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。

録音状態	つまみの位置
小さな音でも録音が始まる(会議などを録音するとき)	高
比較的大きな音のときだけ録音が始まる(口述録音するとき)	低

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてVORスイッチを「高」または「低」にしてください。VORスイッチを操作しても思い通りに録音できないときは、VORスイッチを「切」にしてください。
- 音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VORスイッチを「切」にしてください。

録音中の音を聞くには

イヤーレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。

聞こえる音量は一定で音量 ▲つまみで調節することはできません。

後追い録音をする

再生中に●ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音したものの一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く(ワンタッチレビュー)

録音中に早送り/キュー・巻戻し/レビューつまみを巻戻し/レビューの方向にずらすとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

キューマーカーを録音するには

録音中にキューマーカーボタンを押すことによって、目印としての信号を録音することができます。キューマーカーボタンを押すと、録音ランプが消灯して、信号がテープに録音されます。さらに長い信号を録音したい場合は、ボタンを押し続けてください。再生状態で早送りをしたり(キュー) 巻き戻したり(レビュー)すると、信号が録音されているところまで音(ブー)がして知らせます。また、再生中もイヤーレシーバーをご使用の場合は低い音(ブー)が聞こえます。

ご注意

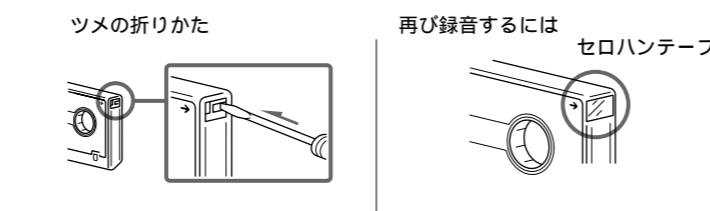
- キューマーカーは音声のとぎれたところでお使いください。
- キューマーカーの信号音は、テープの最初と最後では巻き取られる速度が異なるため、テープの箇所によって音質が違います。

テープが終わりまでくると(オートシャットオフ機能)

録音または再生状態でテープがうら面の終わりまで巻き取られると、押し込まれていたボタンは自動的に元に戻ります。早送り、巻き戻しをしたときは早送り/キュー・巻戻し/レビューつまみを中央に戻してください。

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ると録音状態にできなくなるので、録音した音声を選んで消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさくと再び録音できます。図に示された部分以外にはテープを貼らないでください。



他の機器と接続して録音 / 再生する

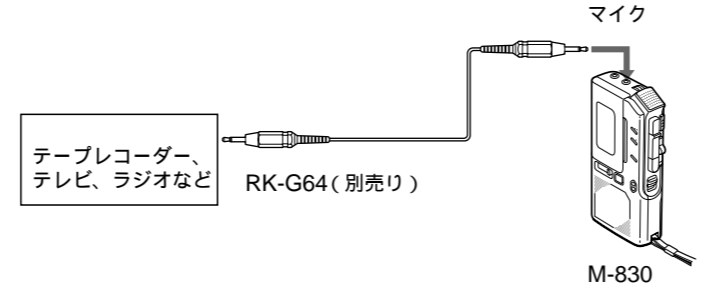
ご注意

- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 下の例はソニー製の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

他のテープレコーダーから録音する

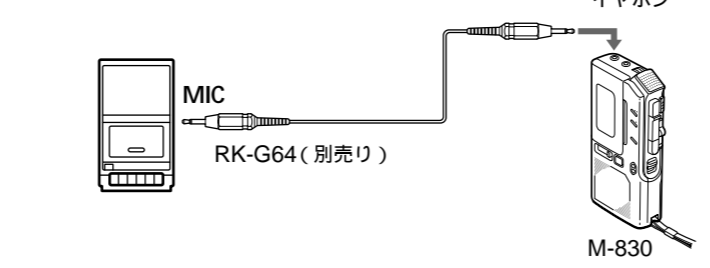
本機を録音状態にして、接続したモノラルテープレコーダーを再生状態にします。

VORスイッチを「切」にします。



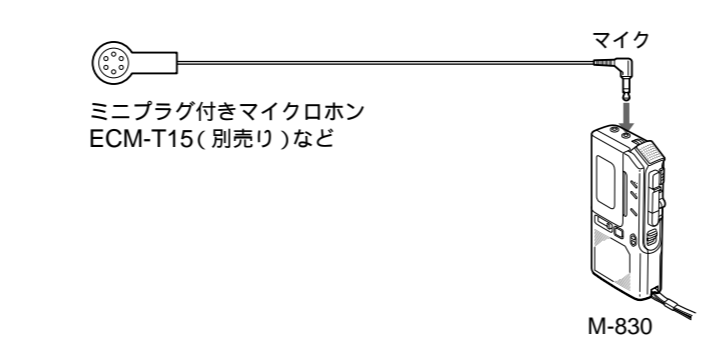
他のテープレコーダーへ録音する

本機を再生状態にして、接続したモノラルテープレコーダーを録音状態にします。



外部マイク(別売り)から録音する

外部マイクを本機のマイクジャックにしっかりとつなぎます。プラグインパワー対応のマイクをつなぐと、マイクの電源は本機から供給されます。



電源について

乾電池の持続時間	(EIAJ*)
使用電池	録音時
ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)使用時	約24時間
ソニーマンガン乾電池R6P(SR)使用時	約7時間

* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。(ソニーマイクロカセットテープ使用)

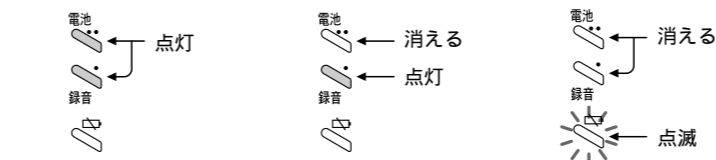
乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

ご注意

- 電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

乾電池を交換する時期

再生 / 録音時の乾電池の残量は録音 / 電池ランプでお知らせします。電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりします。再生 / 録音中に⦿(電池交換)ランプが点滅したら、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。



新しい乾電池で使用時　乾電池が消耗してくると　乾電池を交換してください

ご注意

- ⦿ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが動きますが、正常な音で再生できなくなり、録音時には、雑音が録音されたり、録音される音が小さくなりますので、必ず乾電池を交換してください。
- 次のような場合には電池を交換する必要はありません。
 - 再生中に音量を上げたときなどに⦿ランプが音に応じて一時的にちらついた場合。
 - テープの動きはじめやテープの終わりで、⦿ランプが瞬間的に点灯した場合。
 - 早送り・巻き戻し、またはキュー・レビュー中に⦿ランプが点滅した場合。

コンセントについて使う

- 別売りのACパワーアダプターAC-E30M/E30Aを本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。
- ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意

この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30M/E30A(別売り)(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

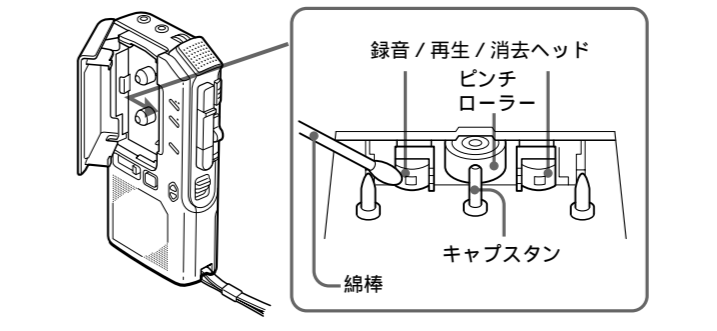
取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - −温度が非常に高いところ(60　以上)。
 - −直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - −窓を開めきった自動車内(特に夏季)。
 - −風呂場など湿気が多いところ。
 - −磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - −ほこりの多いところ。
- 長い間使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回しをしてください。良い状態でお使いいただけます。

キャッシングカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ



よい音でテープを聞くために
10時間程度使ったら、◀▶ボタンを押し込んだあとに、別売りのクリーニングキット(KK-41)でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな？

修理に出す前にもう 1度お調べください。

症状	原因 / 処置
カセットが入らない。カセットが閉まらない。再生できない。	<ul style="list-style-type: none">カセットの向きが正しくない。 うら面の状態でテープが終わりまで巻き取られている。→反転→スイッチをずらしておもて面にする。 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
録音できない。	<ul style="list-style-type: none">カセットが入っていない。 カセットのツメが折れている。(うら面のツメだけが折れている場合でも録音できません。)→録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。(片面だけ録音する場合はうら面にして録音してください。) 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 VORスイッチの設定が不適切。
録音が途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none">VORが働いている。VORを使用しないときは、スイッチを「切」にする。

キュー/レビュー中、途中で止まる。または動かない。早送りや巻き戻しができない。

- 操作ボタンを押しても動かない。
- 乾電池の⦿と⦿の向きが正しくない。
- 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。
- 一時停止スイッチが矢印の方向へずらされている。
- ACパワーアダプターが正しく接続されていない。
- ACパワーアダプターやカーバッテリーコードが本体に差したままになっている。→ACパワーアダプターやカーバッテリーコードがジャックに差してあると、それが優先されるので、乾電池使用時には本体から抜いておく。

スピーカーから音が出ない。

- イヤーレシーバーが差し込まれている。
- 音量が最小になっている。
- 音量が絞られている。
- 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。
- ヘッドが汚れている。→クリーニングする。

再生速度が速すぎたり、遅すぎたりする。

再生速度が通常より速い。

- テープスピード切り換えスイッチの位置が録音時と違う位置にある。
- ファーストプレイバックスイッチが矢印の方向へずらされている。

前の音が完全に消えない。

- ヘッドが汚れている。→クリーニングする。

主な仕様

トラック方式	マイクロカセットモノラル
スピーカー	直径36 mm
テープ速度	2.4 cm/s、1.2 cm/sのスピード切り換え
周波数範囲(EIAJ*)	300 - 4,000 Hz <p>(テープスピード切り換えスイッチ2.4 cm/s時) マイク(ミニジャック)(プラグインパワー対応)(1) 最小入力レベル 0.22 mV インピーダンス 3 kΩ以下のマイク用 イヤホン(ミニジャック)(1) 負荷インピーダンス 8 - 300 Ωのイヤホン用</p>
入力端子	250 mW (EIAJ) 電源 DC 3V、単3形乾電池2本使用 約62.2 × 120.5 × 25.5 mm (幅/高さ/奥行き)(EIAJ) 最大突起部含む 本体 約130 g ご使用時 約175 g (乾電池R6P(SR)2本、マイクロカセットテープMC-60含む)
出力端子	ソニーマンガン乾電池R6P(SR)(お試し用**) (2) マイクロカセットテープ/MC-30(1) モノラルイヤーレシーバー(1) イヤリングポーチ(1) 取扱説明書・保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内 (1) ACパワーアダプター AC-E30M/E30A (極性統一形プラグ・EIAJ規格) カーバッテリーコード DCC-E230 エレクトレットコンデンサ－マイクロホン ECM-T15 接続コード RK-G64 クリーニングキット KK-41
実用最大出力(DC時)	
電源	
最大外形寸法	
質量	
付属品	
別売りアクセサリ	

* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

**付属のマンガン乾電池はお試用です。購入する場合にはソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。